

## 1 教職員研修（夏季実技研修会）について

平成27年8月6日、東温市立川上小学校において、情報教育委員会・視聴覚教育委員会合同夏季実技研修会を行った。講師は松山市立北久米小学校小田浩範教諭、参加者は26名であった。

### (1) 模擬授業①「チームの名前をつけよう」

2～3人に1台iPadを使い、まずチームごとに写真を撮る。各チームの名前を相談し、写真に書き込む。その後、他のグループに紹介し合う。協働的な学びの初歩を学ぶことができた。



<自分たちのチームの紹介>

### (2) タブレットの端末でできること

タブレットでは、

- ①読む、②見る、③聞く、④書く、⑤書き込む、
- ⑥撮る、⑦動かす、⑧大きくする、⑨見せる、
- ⑩送る、⑪保存するなどができる、

こうした機能を有効に使うことが重要である。

### (3) 模擬授業②「平行四辺形のかきかたを説明せよ」

平行四辺形のかきかたを、タブレットで説明する活動。

どのように説明すればよいかをチームごとで話し合う。そのあと、作図をしながら写真を撮る。写真に書き込みをし、分かりやすくする。他のチームに発表し、交流する。



<どんな写真が必要か考える>



<写真を使って説明し合う>

### (4) 模擬授業③「一瞬を切り取ろう」

跳び箱を跳んでいるところを静止画や動画で撮影して、自分たちの動きをフィードバックする。そして、次のめあてを決めたり、跳び方のコツを説明したりする活動する。このように、対話から交流、そして討論、説得（納得）という21世紀型のコミュニケーションをより高いレベルに引き上げる一つの手段とすることができる。



<静止画や動画で撮影>



<電子黒板で発表>

## 2 成果と今後の課題

- これからは、タブレット端末が多くの学校で導入されていく。タブレットを有効に活用し、児童・生徒の学力向上につなげるため、取り入れるようにしたい。
- ICTを介在させることで、受動的な学びから能動的（共働的）な学びにするのが容易になる。多様な機器のよさを知り、よりよい活用方法を研究していくことが必要である。